

ホスピタリティスキルを磨く

神戸女子大学

民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献する有為な女性を育成するための教育活動を展開している神戸女子大学（神戸市）。人格の完成を目指し、

平和的な国家および社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び勤労と責任を重んじ、自主的精神に富んだ、心身共に健康な国民の育成を建学の精神に掲げている。そして、新しい教育プログラムとして日本航空株式会社（JAL、本社東京・品

川区）と連携した講座を開講していることに注目が集まっている。

この講座では、学生のホスピタリティスキルの向上を目指し、航空業界における顧客サービスやホスピタリティの重要性を理解し、実践的なスキルを身につける機会を提供する。日本航空社の経験豊富なスタッフが講師として招かれ、航空業界におけるホスピタリティの基本から応用までをカバー。学生は、顧客接遇やコミュニケーション能力、問題解決能力など、実践的なスキルを習得すると共に、航空業界の現場についての理解を深めることができるのが特徴だ。



日本航空社と連携したホスピタリティ講座を開講している

航空業界について理解を深め実践的なスキルを習得できる



令和6年度は前期・後期それぞれ一科目ずつ開講される。対象学部は、文学部と家政学部の2学部。文学部は日本語日本文学科・英語英米文学科・国際教養学科・史学科・教育学科から、家政学部は家政学科・管理栄養士養成課程から構成されている。

前期の「教養総合Ⅰ（ホスピタリティ・マネジメント）」は、文学部と家政学部の1年次生から4年次生の誰でも受講が可能。後期の「English for CareersⅡ（キャリア・ビジネス）」は、文学部と家政学部の3・4年次生が対象となる。前期は現役の客室乗務員、後期は経験豊富な業務企画職員から現場での経験や航空業界の最新情報を聞くことができるのが魅力だ。また、後期は大阪国際空港（伊丹空港、大阪府豊中市）において、空港見学、客室乗務員とグラウンドスタッフ業務を体験する、体験学習の実施

も予定している。

担当教員の文学部英語英米文学科の坂元敦子准教授は、「この連携講座は、将来さまざまな職場で必要とされるホスピタリティの考え方やスキルを学生が習得するための貴重な機会です」と、述べた。

講座を通して、学生の就業観や職業観を醸成していく機会の創出につなげていくという。JAL側にとっても航空業界における次世代を担う豊かな人材の育成が推進されることだろう。同大では今後も建学の精神に基づき、自立心・対話力・創造性を兼ね備えた人類社会の発展に貢献する女性の育成に力を注ぐ。